

ヤングパワー

東京清掃青年部第52回定期大会開催

一〇月二六日金曜日に総評会館で東京清掃青年部第52回定期大会が開催され、登録代議員49人中30人が主席し大会が成立、執行部9人、本部委員13人、合計52人のが席した。

大会の中でおこなわれた経過報告では、前回の大会で確認された運動方針にそつ

たこの間の取り組みが報告され、仲間を信頼し「横のつながり」で活気ある青年部活動を引き続き行うことが報告された。運動方針案では清掃事業の一体性・一貫性・統一性を守るため、基本組織と連帯し、各支部、各地連における青年部活動の確立、意識の高揚、知識の向上に向けた今後の方向性が示された。

- ・東京清掃青年部定期大会
- ・青年部秋闘学習会
- ・「生命と権利」を守る統一行動
- ・青年部今後の活動

ヤングパワー

第1号

2008年

2月21日発行

発行責任者

星野 友和

編集責任者

安藤 伸和



第30回青年部活動家労働講座開催!

毎年行われている青年部活動家労働講座が今年も箱根路「開雲」で三月二日から三日にかけて開催される。

活動内容は、講演、問題提起、分散会、夕食交流会など内容の濃いものになっている。講演や問題提起では今身近にある様々な問題について学習ができ、分散会では職場の悩みや問題点について仲間と考え知識や意識を共有し、交流会では職場を越えた



仲間作りができるという、貴重な場となっている。支部の皆さんも積極的に参加し、共に意識や知識を強いものに変えていきましょう!

二月二日から一月一〇日の間、統一目標ポスターを職場に掲示し、また通年闘争として支部独自目標を立てポスターの掲示、ステッカーをヘルメット等に貼り「生命と権利」を守るため、日々の作業を再確認し安全に対する意識を高めた。

安全作業の重要性は年末年始に限ったことではない。統一行動を意味するものにするためにも、これからは各支部青年部が先頭に立って行動することが望まれる。

これに対して賛成の立場から6本の意見が挙げられ、質疑に対し安藤副部長が答弁し全体で確認された。

この運動方針に基き、青年部をよりよいものにしていくためにも、青年部活動の建て直しを含め積極的な取り組みが今後の課題となる。

新四役体制

- | | |
|-------------|------------|
| 部 長: 星野 友和 | 副部長: 長妻 芳典 |
| 書記長: 東海林 一久 | 計: 神谷 拓宏 |

「生命と権利」を守る統一行動実施

一月二七日に青年部秋闘学習会が、確定闘争の妥結を受けて開催された。支部8人、執行部4人の合計12人の仲間が参加した。青年部の最大の関心事である「2007 賃金確定闘争の結果と今後の課題」をタイトルとし、大和田賃金部長の講演が行われた。講演の中では、交渉当初から一月二日の確定までの交渉経過をたどり、その中での総務省の指摘事項や賃金確定における課題、われわれを取り巻くきびしい情勢の解説を受け、

青年部秋闘学習会

妥結結果に対する詳しい説明が行われた。質疑応答ではこの状況に対する疑問や質問も多く飛び出し、青年部員の関心の高さもうかがえた。

情勢はさらに厳しくなる事が予想される。民間を巻き込んだ運動の展開と更なる強い団結が青年部にも求められる。

一二月七日に清掃会館地下大会議室で「生命と権利」

を守る東京清掃青年部学習総決起集会が開催され、青年部による統一行動が開始された。

学習総決起集会には13支部21人執行部7人の合計28人が集結し「各区の作業実態と年末・年始作業について」という問題提起を受け、各地連から力強い決意表明がなされた。

統一行動は繁忙期間中の二月二日から一月一〇日の間、統一目標ポスターを職場に掲示し、また通年闘争として支部独自目標を立てポスターの掲示、ステッカーをヘルメット等に貼り「生命と権利」を守るため、日々の作業を再確認し安全に対する意識を高めた。

本部青年部当面の行動

- 東京青年団結集会Ⅰ部 長妻・萩原・安藤(伸)安藤(貴)神谷
- 都市清掃東日本ブロック会議 東海林・長妻・神谷
- 全国青年団結集会(福島) 星野・萩原・安藤(伸)
- 都市清掃青年女性交流集会 東海林・長妻・神谷
- 東京青年団結集会Ⅱ部 全員参加予定

※ ※ ※

青年部今後の活動予定

- 3月2・3日 活動家労働講座
- 4月上旬 「生命と権利」を守る統一行動
- 3月中旬 春闘学習会